

しらかば

第77号

平成29年
(2017年)

7月

公益財団法人 北海道札幌市東区北26条東14丁目1-15
北海道対がん協会 TEL (011) 748-5511 Fax (011) 748-5512

<http://www.hokkaido-taigan.jp/>

就任ご挨拶



公益財団法人北海道対がん協会理事
兼 札幌がん検診センター

所長 河原崎 暢

平成29年4月から、北海道対がん協会理事兼札幌がん検診センター所長に就任致しました。日々、責任の重さを痛感しながら検診にあたっています。

私はこれまで、北海道内各地の医療機関で、消化器内科医として、がんや生活習慣病の治療に携わって参りました。その中で、早期発見・早期治療の重要性を考えさせられる場面が多々ありました。

「しらかば」を読まれている皆さまは既に御承知と思いますが、今や日本人の約半数ががんに罹患する時代となりました。また、昭和56年から連続して、がんが日本人の死因の1位であり、全死因の28.7%を占めています。北海道も全国と同様にがんが死因の1位であり、全死亡者数に占める割合は全国よりも高く、31.5%となっています(※1)。

当協会では実施している消化器がん検診をみると、平成27年度の胃がん検診では、18台の検診車

で127市町村を延1,886日間巡回したほか、81事業所に延243日間巡回し、検診を実施しています。協会内での実施数と合計すると、116,739名(※2)の方が受診され、その中で151名のがんを発見しています(平成28年9月30日現在)。発見した胃がんの約7割が早期がんで、受診者を受診歴別で見ると、初回受診者(※3)が最も多い状況でした。同様に大腸がん検診では、123市町村、19事業所と、協会内での実施数を合計すると、140,181名の方が受診され、その中で433名のがんを発見しています。胃がん検診と同様、約7割が早期がん、初回受診者が最も多い状況でした。

このように、自覚症状がない状態で受診する検診では、発見されるがんは早期がんが多く、また、初回受診者に多いことから、いかに多くの道民に継続して検診を受けていただき、早い段階でがんを発見するか、それによって死亡率

減少に貢献するか、ということが使命であると考えます。当協会では、がんやがん検診の正しい知識を伝え、検診受診率を向上させるため、市町村や患者団体主催のイベント、ショッピングモールや街頭での普及啓発を実施している他、町内会や各種団体からの依頼に応じて、健康教育等を実施してきました。今後も検診受診率を向上させ、道民のがん死亡率減少に貢献できるよう、普及啓発活動に積極的に取り組んでいきます。このことは、増加し続けている医療費削減にもつながると考えています。

また、これまでの診療の中で、がん罹患リスクでもある糖尿病治療にも多く携わってきました。その経験から、健康寿命の延伸には、糖尿病をはじめとした生活習慣病の予防が重要であり、がん検診と併せて、健康診査の受診率向上も重要と考えています。

検診・健診率向上のためには、市町村をはじめ、北海道や各関係機関との連携が欠かせません。受診者に安心して、また継続して検診を受けていただけるよう、努力を重ねていきたいと思っておりますので、関係各位のご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

※1 平成27年人口動態調査

※2 札幌・旭川・釧路3センター計

※3 3年以上当協会では検診受診歴がない受診者

2016年度ピンクリボン活動支援自動販売機寄附金贈呈式を開催しました

【開催日時】平成29年2月22日（水）11：30～12：00

【開催場所】大通ビッセ 1階 エントランススペース
（北海道札幌市中央区大通西3丁目）

【内 容】・北海道対がん協会からピンクリボン活動支援自動販売機設置先様へ感謝状の贈呈
・北海道コカ・コーラボトリング株式会社から北海道対がん協会へ寄附金の贈呈
・大通りビッセ地下1階スペースで啓発グッズ（オリジナルふせん）を配布

ピンクリボン活動支援自動販売機は、飲料を購入するごとに売上金の一部が当協会へ寄附される仕組みになっており、北海道において乳がんから女性を守るための活動にあてられます。これは2010年に北海道コカ・コーラボトリング株式会社と締結した「ピンクリボン運動の推進に関する協定」に基づき道内各地で展開し、企業・医療機関・福祉施設・学校等に設置のご協力をいただいております。2016年度は2,231,459円もの寄附が集まりました。自販機の数も初年度の21台程から、現在は約150台までに増えました。

平成29年2月22日（水）に開催した「2016年度ピンクリボン活動支援自動販売機寄附金贈呈式」では、当

協会の長瀬会長から、日頃のご協力に感謝の意を表して、お集まりいただいた自販機設置企業・団体様に感謝状を贈呈しました。そして、北海道コカ・コーラボトリング株式会社の佐々木社長より長瀬会長へ、2016年度のご寄附の目録が贈呈されました。

頂戴した尊い寄附金は、がんに関する正しい知識の普及啓発媒体の作成やがん検診事業の推進に役立てられます。2016年度は、前年度に引き続き「乳がん触知モデル」の購入と啓発用オリジナルふせんメモを作成したほか、乳がんの早期発見・早期治療の大切さを伝えるシンボルマークであるピンクリボンのバッジを、北海道オリジナルデザインで作成し

ました。また、寄付金の一部を活用して、コカ・コーラ工場見学×無料乳がん検診バスツアーを開催し、20名の方に参加いただきました。

佐々木社長は、乳がんが増えていく一方で、道内の乳がん検診の受診率は全国平均を下回っている。コカ・コーラ工場見学×無料乳がん検診バスツアーは、楽しみながら乳がんについて学び、気軽に検診を受けるきっかけになる取り組みとして、今後も継続してほしいと話されました。この検診バスツアーは、乳がん啓発ピンクリボン活動『リボンの願い』事業として、2017年度は人数を増やし11月に開催する予定です。



（左）北海道対がん協会 長瀬会長
（右）北海道コカ・コーラボトリング株式会社 佐々木社長



自販機設置先様 11社と
長瀬会長（中央左）、佐々木社長（中央右）



北海道ピンクリボンバッジ

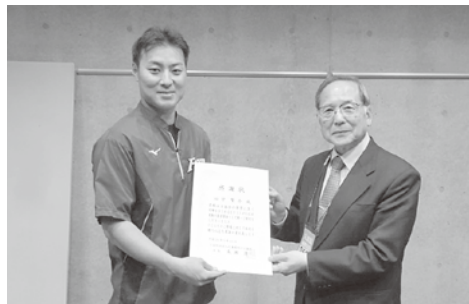
田中賢介選手ピンクリボンプロジェクト2016

北海道日本ハムファイターズの田中賢介選手による社会貢献活動、「ピンクリボンプロジェクト2016」により、ピンクリボン in SAPPOROを通じて、北海道対がん協会へ、500,000円を超える多額のご寄附をいただきました。そのご厚情に感謝の意を示すため、下記のとおり感謝状の贈呈を行いました。

開催日時：平成29年3月25日（土）12：00

開催場所：札幌ドーム（北海道札幌市豊平区羊ヶ丘1）

内 容：北海道対がん協会会長 長瀬 清より
田中選手へ感謝状の贈呈



【プロジェクト概要】

田中賢介選手がピンクカラーの野球用具を身に付けていたことから、「ピンク」がご本人のイメージカラーとして定着したことをきっかけに、乳がんの早期発見、早期治療の大切さを伝えるピンクリボン活動に取り組まれるようになり、このプロジェクトが2008年からスタートしました。

2016シーズンは、「バッティングでチームの勝利に貢献する」という田中選手の決意の下、ヒット1本につき2名分の乳がん検診の料金をご寄附いただきました。頂戴した募り寄附金は、がんに関する正しい知識の普及啓発媒体の作成やがん検診事業の推進に役立てられます。

『小舟会』
50年の歴史に幕

当協会に事務局を置く小舟会は、がん患者やその家族を会員として昭和42年に発足して以来、会員相互の親睦を深めることを目的に、がんの不安・術後の悩みなどを語り合う会やがん予防や健康増進に関する研修会などを定期的に開催するなど、道内のがんサロン活動の先駆的な役割を果たしてきました。

しかし、近年は道内各地の病院にがんサロンが設置されるなどにより、新たな会員の加入が見込まれないほか、現会員の高齢化等から活動の継続が困難な状況となっております。

設立から50年を迎えるに当たり、50周年記念誌を作成するとともに、今後の会のあり方について協議を重ねた結果、活動を継続することは難しく、会の設立当初の目的は果たしたということで平成29年3月をもって解散する運びとなりました。

なお、解散に伴い、会の残余金575,906円を、がんになっても安心して暮らせる社会の実現を目指して設立された『北海道がん対策基金』に寄附させていただきました。

(1)

小 舟 会

平成 29 年 3 月 29 日発行

編集発行

50 周年記念誌編集委員会

小舟会会長 橋瀬 郁代

【事務局】

会館（調理学部）入道南町 4 丁目 1 番 1 号

札幌市中央区南一条西 13 丁目 1 番 1 号

TEL 011-748-5511

印刷 株式会社 日栄堂

平成 25 年度総会

小舟会五十周年
によせて

小舟会会長 橋瀬 郁代

今年七十六歳
です。あれから
三十六年生きて
こられたのだと

改めて感謝しています。

あの頃は「がん・イコール死」と言われていた怖い病でした。一較的にいそれくらの知識しかない時代でした。

自分の家系にはがんがでなくなった人がいなかった私は、大丈夫と考えていた当時、父親が八十歳で肺がんと診断され、検査の途中であの世に逝ってしまいました。家系にがん患者はいないけれど考えていたことに反省しました。

四十歳で初めて集団検診を受け

ました。後日地元の保健センターより「お話がありますのでお越しください。」との連絡がありました。がん検診を受けたのだからさつと悪い知らせと思いました。生きてきた四十年が走馬灯のように浮かんできました。これからどうなるのか、長男高校一年、長女中学三年に親しい思いはさせられない。がんでは死にたくない。子供たちのために自分自身のために、悪いところは取ってもらい一日でも早く手術をしていただき、幸えてなるのだと思うように努めました。

辛いにして初めて受けた検診で初期がん発見され、何れ後遺症もなく元気に過ごしてきました。家族が揃って食事をする時など、あの検診を受けたからこの幸があるのだと感謝したものです。多くの人が毎年一回は検診を受けることを切に願っています。

❖ 北海道がん対策基金 実施状況 ❖

❖ 北海道がん対策基金とは？

「がんになっても安心して暮らせる社会づくり」を目標に、全ての道民が一体となってがんの克服とともにがん患者やその家族の方々を社会全体で支える仕組みとして、平成27年2月、北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄附を財源とした基金を設立いたしました。

今後、本基金をもとに、皆様とともに「がんに負けない社会」の実現を目指して様々な取組みを進めてまいりますので、継続的なご支援・ご協力をお願い申し上げます。

募金状況

5月31日現在の累計募金状況は

14,952,393円

引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。



設置年月	サントリービバレッジサービス株式会社	台数
H29.4	KKR札幌医療センター	13
	基金支援自動販売機累計台数	109

募金額の内訳

一般寄附・募金箱		
個人	51件	4,307,692
企業・団体等	192件	8,373,343
自動販売機	51件	1,942,842
常設募金箱	14か所	155,065
臨時募金箱	18日間	173,451

企業・団体等の募金状況

企業（H29.2月～H29.5月）		
3/10	釧路地域工業振興協会	17,857
3/24	（株）近藤設備工業	10,000
3/31	小舟会	575,906
5/26	北海道健康づくり実行委員会	300,000
7～12月	北海道（部局等）	353,144

募金箱の募金状況

イベント設置募金箱（H29.2月～H29.5月）		
2/13	ワーキング・サバイバーズ・フォーラム（京王プラザ）募金箱	6,784
5/23	第一生命来道100周年経営セミナー（募金箱）	8,173

新規 基金支援自動販売機設置先

設置年月	北海道キリンビバレッジ株式会社	台数
H29.4	室蘭リゾート開発株（室蘭市役所）	1
H29.4	トランスコスモス株	1
H29.5	エムサービス株（北海道医療大学）	1
H29.6	トランスコスモス株	1

商品募金・募金箱・支援自動販売機設置先募集

北海道がん対策基金では、寄附金付き商品の企画販売や募金箱および支援自動販売機の設置にご協力いただける企業・事業所・店舗・病院などを募集しております。

また、イベント等の臨時的な募金箱設置先も募集しております。

募金箱は、幅12cm、奥行き9.7cm、高さ17.9cmの亚克力製です。募金箱の背面には、パンフレットを挿入することができます。募金箱のサイズ・材質等は変更となる場合がございます。

お問い合わせは事務局までお願いいたします。



お問い合わせ

募金箱・自動販売機設置について、その他のお問い合わせは事務局までお問い合わせください。

＜事務局＞

○公益財団法人 北海道対がん協会

TEL (011) 748-5511

○北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
がん対策グループ

TEL (011) 204-5117

平成29年度 北海道がん対策基金助成事業 決定

平成27年2月に設立された北海道がん対策基金は、今年度で3期目を迎えました。

この基金は、がん検診受診促進・がん教育推進・がん患者等相談支援・がん情報提供等北海道のがん対策の向上に資する事業の助成に役立てられます。

平成29年度の助成事業は、平成29年1月20日～2月28日に募集を行い、7団体・8事業の応募の中から3団体・3事業に総額78万3千円を助成することを北海道がん対策基金運営委員会において決定しました。決定団体、事業、各助成金額は以下のとおりです。

【平成29年度北海道がん対策基金助成団体・事業・助成金額】

団体名	事業区分	事業内容	助成金額
がん検診受診率向上 フェスティバル 実行委員会	がん検診 受診促進事業	がんに対する知識の普及啓発を図りがん検診受診率向上を目的として、講演、啓発に加え、がん患者・家族を応援する写真展の企画、調理の実演・試食、マッサージなどの体験型で参加しやすいフェスティバルの開催	35.8万円
市民のための がん治療の会 北海道支部	がん教育推進事業	検診によるがんの早期発見・早期治療の啓発を図るため、一般市民を対象とした講演会の開催	13.8万円
HHMホット・ハンド むろらん	がん患者等 相談支援事業	タオル帽子の講習会、制作、病院への寄贈、レンタルウィッグによる患者サポート	28.7万円



健康づくり実行委員会寄付贈呈式

北海道健康づくり実行委員会（事務局：公益財団法人北海道健康づくり財団）から30万円もの尊いご寄付をいただきました。

実行委員会は、北海道医師会、北海道歯科医師会、北海道薬剤師会、北海道看護協会、北海道栄養士会、北海道国民健康保険団体連合会、北海道対がん協会、北海道健康づくり財団の8団体で構成されております。

構成団体の皆様からいただきましたご厚情に、心より感謝申し上げます。



賛助会員名簿

(平成29年6月14日現在)

(敬称略)

ご 報 告

平成28年度（平成28年4月11日～平成29年4月10日）の賛助会費の収支決算は次のとおりです。
会員の皆様に厚くお礼を申し上げ、ご報告いたします。
なお、名簿には平成29年度の新規会員も含まれます。

収 入 の 部

個 人 会 員	379件	898,898円
法 人 会 員	126件	1,563,000円
計		2,461,000円

支 出 の 部

通信運搬費	資料等の郵送料	381,829円
印刷製本費	普及啓発用パンフレット等の印刷費	2,080,069円
計		2,461,898円

個人会員の部

札幌市中央区		後 藤 靖 子	山 内 美恵子	張 山 朋 恵	藤 田 博 正
相 澤 信 之		小 西 彩 子	渡 辺 知 代	日 野 順 子	船 橋 芙沙子
浅 川 聡 子		九 石 和 恵	札幌市東区	福 澤 宗 司	山 上 みゆき
浅 川 礼 子		齋 藤 芳 子	浅 井 寛 子	藤 川 甫	山 崎 順 子
東 恵 子		榊 洋 行	市 川 浩 巳	古 永 ゆかり	若 松 紀多子
池 田 アヤ子		佐々木 千雅子	浦 洋 子	毛 利 拓 哉	札幌市南区
伊 藤 雅 子		佐々木 圓 治	岡 田 幸 博	森 康 司	遠 藤 留美子
江 平 悦 子		佐々木 志津子	奥 野 信 也	山 崎 留 美	加 藤 道 子
大 上 婦美子		佐 藤 トキエ	小 田 寿	横 山 恵	加 藤 徹
桂 絢 子		佐 藤 幸 代	菊 地 ゆう子	吉 田 晃 暢	加 藤 睦 子
金 田 晶 子		篠 永 蘭 子	北 秀 継	札幌市白石区	萩 原 重 利
木 田 達 子		庄 司 淑 子	北 友 美抄子	小 林 和 子	八木澤 文 子
木 戸 正 典		白 井 富 枝	木 村 圭 子	小 林 三枝子	山 田 しをり
鈴 木 信 一		白 井 富 枝	小 沼 真 澄	塩 見 一 夫	吉 井 廣 子
須 藤 利 昭		多 田 洋 子	小 林 博 子	清 水 ミヨ子	札幌市西区
砂 川 美津枝		富 樫 みよ子	小 松 薫	畠 中 桂 子	阿 部 里 絵
竹 江 スミエ		中 川 栄 志	小 室 勝 男	札幌市豊平区	植 村 絵 美
谷 川 都夜子		長 谷 美千江	佐 藤 芳 子	石 井 達 夫	上 山 秀 夫
千 葉 敏 也		西 嶋 和 恵	佐 藤 文 俊	伊 藤 伸 一	勝 見 登久子
塚 田 律 子		似 内 英 子	佐 藤 則 子	梅 澤 順 子	川 合 邦 夫
戸 屋 浩 一		根 本 明 美	佐 藤 政 子	大 家 秀 雄	京 野 玲 子
中 川 時 人		畠 眞佐子	周 東 百合子	小 川 多恵子	栗 原 鉦 一
長谷部 孝 子		人 見 健 彦	白 井 典 子	栗 田 勝	小 松 靖 子
八 柳 奈美子		藤 田 智 子	関 芳 一	坂 本 ひとみ	白 川 賢 一
藤 田 秋 見		古 川 貞 子	高 橋 敏 憲	新 木 一 二	志 連 義 治
藤 原 美 樹		牧 野 洋 子	高 山 裕 行	杉 谷 武 子	高 橋 延 昭
松 田 鉄 治		松 田 勝 子	田 丸 波 於	高 橋 まゆみ	田 上 稔
松 館 啓 二		丸 岡 和 子	傳 法 公 麿	高 森 ふじ子	中 川 昌 代
松 原 由布子		三 浦 瑩 子	中 村 陽 子	瀧 澤 莉 代	前 田 好 徳
三 谷 黎 子		村 上 軍 時	能 田 真 結	花 田 雅 輝	南 聡 一
		森 愛 子	馬 場 真 志	浜 田 道 子	山 川 則 子

山 室 吉 博	平 松 美智子	中 西 健 三	齋 藤 晋 一	真 方 敏 一	由仁町
山 本 武	旭川市	中 村 朱 里	佐 藤 恵美子	松 本 勇 人	大 畠 安怡子
札幌市厚別区	青 木 津弥子	永 森 祐 衣	佐 藤 伸 尚	山 口 孝 代	東 辻 智恵子
大 西 匂三子	浅 香 伸 一	中 山 仁	新 川 史 郎	紋別市	栗山町
斉 藤 九 文	石 川 良 美	新 関 おりえ	鈴 木 守	竹 澤 康 裕	坂 上 由美子
佐々木 稔	池 田 昌 弘	西 川 恒 彦	住 吉 香 織	舟 見 美登里	蓑 嶋 美智子
佐 田 詔 一	石 川 文 秋	西 田 大	高 崎 恵美子	三笠市	鷹栖町
立 崎 磯 夫	石 山 好 人	長谷川 優 希	田 中 稔	樫 田 勉	船 橋 幸 子
田 中 勇 夫	今 村 伸	馬 場 留理子	中 村 道 子	千歳市	上川町
土 田 雅 恵	岩 城 弘 子	林 知 子	新 垣 正	愛 澤 祐 司	木 村 美江子
新 田 康 子	岩 崎 敏 博	東 辻 和 彦	野 澤 文 子	恵庭市	増毛町
橋 掛 清 市	大 向 博 子	平 野 真 理	秦 治	土 川 久美子	佐 藤 勉
深 沢 武 雄	荻 原 亮 一	藤 井 哲 哉	羽 田 砂紀子	伊達市	高 橋 豫 克
本 吉 和 紀	笠 茂 光 範	藤 田 静 江	原 隼	東 愛 子	西 尾 ヒ ナ
札幌市手稲区	加 藤 智 子	前 井 絵 理	東 崎 英 子	平 口 浩 造	更別村
大 中 房 江	川 橋 貴 大	松 谷 和 江	廣 島 吉 雄	本 間 幸 子	宿 田 成 宏
工 藤 重 民	河 村 幸 子	溝 口 まゆみ	福 士 雄 大	北広島市	大樹町
駒 沢 一 文	菊 田 信 子	三 鍋 澄 子	藤 田 英 子	服 部 智恵子	茂 木 千恵子
今 野 信 代	工 藤 儀 一	水 井 眞知子	松 木 文 子	石狩市	釧路町
坂 梨 慎 哉	小 坂 眞知子	山 崎 知 文	松 葉 憲 二	内 田 一 子	漆 原 智香子
嵯峨山 實	黒 墨 智	横 田 弘 美	三 浦 清 子	小 松 寛	齋 藤 晋 一
瀬野尾 瞳	合 田 亜 希	渡 辺 富美子	三 浦 務	古 野 一二三	白糠町
高 井 収	斉 藤 毅	釧路市	水 口 俊	山 下 哲 也	木 村 美千代
高 井 瑞 枝	坂 田 裕 美	秋 里 直 広	道 辻 重 子	苫小牧市	高 橋 志保子
藤 田 義 人	佐々木 弘 之	浅 井 正 子	村 田 治 美	高 橋 一 郎	立 石 紀 子
細 越 信 子	佐々木 重 男	明日見 昌 則	山 本 絡 一	美唄市	田 森 直 子
三 崎 陽 子	佐 藤 和 美	石 川 信 子	吉 川 カツエ	井 門 英 明	近 久 厚 司
森 川 シ マ	佐 藤 利 男	漆 原 智香子	和 泉 東 子	北見市	桧 森 千枝子
渡 辺 正 嘉	推 名 安 之	遠 藤 智 仙	若 松 邦 子	楠 瀬 郁 代	平 野 温 子
札幌市清田区	菅 原 則 子	大 石 耕 治	和 島 京 子	村 井 昌 裕	峯 田 弘 子
羽 賀 俊 夫	菅 野 龍 雄	加 藤 清 則	岩見沢市	帯広市	茂 木 スズエ
吉 川 伸 也	清 野 友 行	加 藤 みち子	石 井 知 江	鈴 木 宏 視	山 際 百合子
阿 部 春 郎	鈴 木 貴	鎌 田 智 子	今 井 武 志	根室市	山 口 祥 子
南 出 博 子	鈴 木 宏 彦	北 田 雅 嗣	網走市	田 家 賢	山 吉 文 子
半 田 信 子	高 橋 綾 子	木 村 義 和	山 口 征 子	乙部町	山 吉 千鶴子
山 崎 国 男	高 畑 弘 子	工 藤 典 子	江別市	生 田 晃 吉	厚岸町
函館市	田 村 阿伊子	倉 兼 俊 之	縣 有	古平町	秋 山 幸 子
村 山 信 夫	丹 野 正 宏	小 峰 園 子	梅 津 敏 敬	工 藤 誓 子	新篠津村
小樽市	千 葉 美奈子	坂 野 辰 哉	木 下 邦 鷹	奈井江町	高 村 範 子
小 林 万寿子	戸 嶋 梓	坂 本 忠 則	鈴 木 康 雄	加 藤 幸 子	

市町村会の部

赤井川村役場
安平町役場追分庁舎
北竜町役場
八雲町役場
余市町役場
蘭越町役場
留寿都村役場
厚岸町
弟子屈町

法人会員の部

札幌市

アイ・ティ・エンジニアリング
出光リテール販売 株式会社 北海道カンパニー
伊藤組土建 株式会社
株式会社 恵和ビジネス
公益財団法人 北海道結核予防会
小南印刷 株式会社
三機工業 株式会社
一般社団法人 北海道医師会
大丸藤井 株式会社
道央情報サービス 協同組合
東京防災設備 株式会社
北海道エネルギー 株式会社
北海道カーオイル 株式会社
北海道放送 株式会社
マンパワーグループ 株式会社 札幌支店
三浦印刷 株式会社
株式会社 朝日新聞社 北海道支社
株式会社 日立ビルシステム

株式会社 ベルックス 石狩市

株式会社 ほくやく
株式会社 北洋銀行
株式会社 北海道医療新聞社
株式会社 北海道新聞社
株式会社 モロオ
札幌臨床検査センター 株式会社
日興美装工業 株式会社
富士自動車工業 株式会社
株式会社 常光
株式会社 ムトウ
一般社団法人北海道臨床衛生検査技師会立衛生検査所
カイゲンファーマ 株式会社
なかせき商事 株式会社 札幌営業所
北海道日野自動車 株式会社
有限会社 丸や山口商店
株式会社 ATM保険事務所
株式会社 スズケン
株式会社 ティ・アイ・エス
株式会社 北基サービス
サントリーパレージサービス 株式会社
つうけんビジネス 株式会社
株式会社 日栄舎
ベル通信工業 株式会社
前田タイヤ 株式会社
株式会社 札幌白衣
山藤三陽印刷 株式会社
有限会社 クイックドライかさはら
有限会社 医用センターフクヤ
有限会社 アマノ自動車工業
デンソーテクノ 株式会社
北海ケミー 株式会社
北海道コカ・コーラボトリング 株式会社
北海道バンディング 株式会社

北広島市

社会福祉法人 北海道リハビリー
札幌自動車工業 株式会社

旭川市

株式会社 あいわプリント
旭川レディースクリニック
旭川トヨタ自動車 株式会社 未広支店
有限会社 入江タイヤサービス
環境衛生工業 株式会社
協同車輻整備工業 有限会社
北海道コカコーラボトリング 株式会社 旭川事業所
澤井石油商事 株式会社 旭川支店
旭川市市民委員会連絡協議会女性部会
医療法人社団 せせらぎ通りクリニック
高砂熱学工業 株式会社 旭川営業所
有限会社 旭川ティーピーエム
医療法人 東光マタニティクリニック
株式会社 ドーホク
日興自動車工業 株式会社
株式会社 ノヴェロ 旭川支社
北海道日野自動車 株式会社 旭川支店
株式会社 富貴堂ユーザック
有限会社 北光クリーニング
株式会社 ホンダベルノ旭川 未広店
株式会社 ほくやく 旭川支店
株式会社 ムトウ 旭川支店
北海道食生活改善推進員協議会
第一岸本臨床検査センター 旭川営業所
株式会社 旭川環境リサイクル
道北飲料 株式会社

釧路市

阿寒歯科診療所 大澤正幸
医療法人社団 功仁会 足立皮膚科美容外科クリニック
株式会社 松井建設
釧路歯科医師会
釧路総合印刷 株式会社
千代田電装工業 株式会社 釧路支店
東洋印刷 株式会社
釧路協立病院
株式会社 セントラル・ビル・サービス
中央防災システム 株式会社
大栄商事 株式会社
株式会社 トヨタレンタリース 釧路
株式会社 ヨシダ造園緑化
有限会社 斉藤薬局
ネッツトヨタ道東 株式会社
有限会社 クリーニングいまい
株式会社 エス保険サービス
東北海道日野自動車 株式会社 釧路支店
医療法人社団 香寿会 柴田内科医院
安藤印刷舗 株式会社
東テク北海道 株式会社
藤田印刷 株式会社

帯広市

有限会社 サンコーメディカルセンター
大同出版紙業 株式会社
株式会社 帯広臨床検査センター
太田電機 株式会社

釧路町

有限会社 大沢タイヤ商会
丸井産業 株式会社

東京都

まほろば総合保険 株式会社
サンプリングシステムズ

がん征圧に尊い寄附金